

『静岡県における高等教育のグランドデザイン』

長期的な高等教育の展望

- 静岡で学び続けるための魅力ある高等教育機関の構築
 - 地域の真のニーズに応える教育
- AIの発達、DXの推進による、授業方法の多様化
 - 遠隔授業の更なる進化
- 多様性と柔軟性を合わせもった改革
 - 人的・物的資源（施設・教職員・授業）の共有

教育の質の保証

- 地域のニーズに応じた平準化された学びの保証
 - 県内大学間での教養科目の単位互換
- 学修成果を可視化するための統一化（ポートフォリオ、ディプロマサプリメント）
 - 可視化する項目について一部共通化
- 教学マネジメントの強化
 - コンソーシアムの活用し、改善について意見交換

各高等教育機関の役割

- 各大学の特色を生かし、知の拠点としての教育活動の推進
 - 教養教育、専門教育、留学生の育成、資格取得、リカレント教育など

18歳人口の減少を踏まえた地域の将来像

- 県外流出の防止策の構築
 - コンソーシアムの枠組みを活用し大学間連携を強化
- リカレント教育の充実
 - 静岡版リカレント教育の開発